

No.52 2012, Jan.

1 月・平成 24 年頭号

<http://city.hokkai.or.jp/~mtamaki/kyokai>

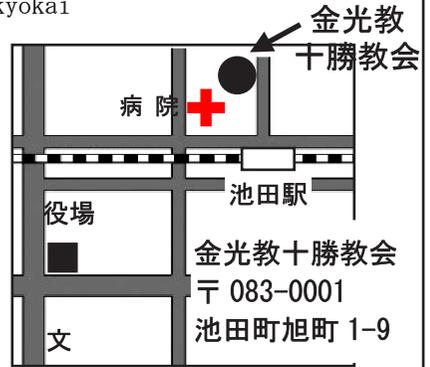


十勝教会



だより 52

☎ 015-572-2322
fax 015-572-4213



金光教
十勝教会
池田町旭町 1-9
〒083-0001

平成二十四年を迎えて

金光教十勝教会



平成二十四年、金光教立教百五十二年、十勝教会創立九十二年の年を迎えました。本年もどうぞよろしくお願いたします。

昨年から十勝教会では教会創立百年

を目指して「本当の信心をさせていた
だく」ことを教会の目標にさせていた
できました。今年もこの目標に向かっ
て皆さんと共に信心を進めていきたい
と思います。



さて、教祖様は「信心しなくてもお
かげはやってある」と伝えております。
これは、「例え信心はしていなくても、
天地の中に生きている限り、天地の働
き、いのちの働きは受けられる」とで
も受け止めればよいでしょうか。

信心のあるなしに関係なく、日は昇
り、四季が巡り、動物や植物が生ま
れ、私たちも生きています。誰彼を問
わず天地・地球の中に存在するものす
べてが平等に受けることができるもの
が「おかげ」であり、私たちが生きて
いること自体が「おかげ」であるわけ
です。

それだけではなく、食べ物を買うことができ、病気の時は病院へ通うこともできるといった世の中の仕組みや人の働きの中に生きていくこともまた「おかげ」であります。

そのありがたさにどれだけの人が気付いているでしょうか。教祖の説く「信心」とはその「当たり前」のありがたさに気付くことでもあります。

去年は東日本大震災という未曾有の大災害を経験し、被災地だけではなく、日本中が「当たり前」に暮らせる」ことの脆もろさに気付かされました。しかし、節電一つをとつてもわかるように、復興が進むにつれその感覚は次第に薄れていくようです。

○

安政六年に天地金乃神様から教祖様へ伝えられた「立教神伝」はこう締めくくられています。

「神も助かり、氏子も立ち行き。」

氏子ありての神、神ありての氏子、末々繁盛いたし、親にかかり子にかかり、あいよかけよで立ち行き」

ここでいう「あいよかけよ」とは神も人間も共に立ち行くことであり、この世界は神と人はもちろん、人と人、物と人のように、あらゆるものがお互いに深く関わり合つて成り立っているという金光教の信心の要かなめを表した言葉です（もとは中国地方の古い方言のようです）。

このように金光教の信心をする者にとつてとても大事な「あいよかけよ」なのですが、この「あいよかけよ」を私たちの日々の生活の基本にして取り組んでいこうというのが「あいよかけよの生活運動」です。

その願いは、

「わが心の神にめざめ

祈り、対話、行動をもって

神を現す生活をすすめ

共に助かる世界を生みだそう」というものですが、ではここに書かれた願いをどう日々の生活の中で具体的に実践していけばよいのでしょうか。

その「あいよかけよ」への取組については教主金光様が、「世話になる全てに礼を言う心」という言葉で説明されています。つまり、私たちが日々暮らすなかで「世話になる人、もの」全てに礼を言う心をもって毎日の生活をおくるよう心がけなさいということですが、それが、天地金乃神様が願われる「神も人もあいよかけよで立ち行く」世界を実現する入り口になるということなのです。

○

天地金乃神様は、「天地の働きの中に生きる氏子（人間）自らが、その理ことわりを忘れて人間中心の生き方をすること人自ら難儀を生みだし苦しんでいる」ことを嘆かれ、教

祖生神金光大神大様に、「天地の働きの中に生きる人間としての本当の生き方」を説いて聞かせるように願われました。そして、教祖様の説かれる「人としての本当の生き方」の実践が「世話になる全てに礼を言う心」であり、それは「当たり前前のありがたさ」に気付かされることでもあり、「本当の信心」の始まりでもあります。

今年一年、この「世話になる全てに礼を言う心」をそれぞれの信心目標にして取り組んでみてはいかがでしょう。 (平成24年元旦)

※なお、本年一月一日より「あいよかけよの生活運動」の中身を一段と進めた「神人あいよかけよの生活運動」が発足しました。

神人かみひとあいよかけよの生活運動

願 い

御取次を願 い 頂 き

神のおかけにめざめ

お礼と喜びの生活をすすめ

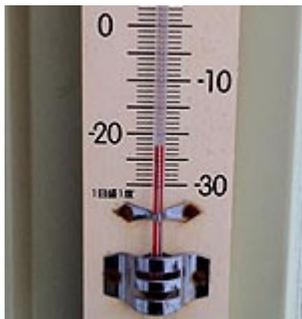
神心かみこころとなつて 人を祈り 助け 導き

神人かみひとの道を現そう

教 会 日 誌

平成23年11月13日から12月31日まで

- 11月13日 大祭前大掃除、大祭打合せ。
- 11月13日 函館教会大祭、衛先生参列御用。
- 11月17日 池田町、I家葬儀式、会葬参拜。
- 11月18日 大祭準備御用奉仕開始。
- 11月20日 生神金光大神大祭執行。
- 11月22日 士幌町A家、旬日祭。
- 12月1日 帯広市、I家葬儀式、会葬参拜。
- 12月5日 薫別講社・生神金光大神大祭。
- 12月11日 士幌町A家、合祀祭。
- 12月29日 札幌市、K家百日祭。
- 12月31日 越年感謝祭。 ※行事の写真は次頁



写 真

12月22~23日の大雪の境内と24日の寒暖計

今シーズンは寒さと雪が一緒にやってきたようで、24日は氷点下22℃まで冷え込みました。



写真 (上 2 段) 大祭前大掃除
(下 2 段) 大祭準備御用奉仕



上・お直会料理、下左・奏楽修礼、下中・献花、下右・広前会場設営



写真 1 生神金光大神大祭

右・取次唱詞
中・祭主玉串
左・祭主祭詞奏上



左・責任役員玉串

中 2 枚・平服参拝教師玉串、

右・教会長玉串



左・隣接教会代表玉串

中・信徒会代表玉串

右・信徒総代玉串



左・奏楽御用

中・吉備舞奉納舞人

右・御神伝奉読。

御神伝奉読の後は DVD「続・金光さま」を鑑賞しました。



信徒会長挨拶（左）のあと、みなで婦人部手作りのお直会をいただきました。



十勝教会これからの祭典と主な行事予定

祭 典

天地金乃神大祭（春）	4月15日（日）午前11時
生神金光大神大祭（秋）	11月18日（日）午前11時
霊 祭（春）	3月20日（祝）午後1時30分
霊 祭（秋）	9月22日（祝）午後1時30分
勸 学 祭	4月 1日（日）午後1時30分
上半期感謝祭	6月30日（土）午後1時30分
布教功労者報徳祭	8月16日（木）午後1時30分
越年感謝祭	12月31日（月）午後1時30分

行 事

信徒会総会・新年会	2月11日（祝）
大祭前大掃除	（春）4月8日（日）、（秋）11月10日（土）
境内清掃	6月3日（日）、7月22日（日）

関係教会記念祭

帯広教会 90 年記念祭	11月11日（日）
旭川教会 110 年記念祭	5月13日（日）